

# 現実と仮想との混乱を憂う 最も重要なのは信仰心



老智慧  
長智

李登輝

その2【全5回】

文化にも造詣が深い老政治家は、村上春樹を読み、「スタートレック」をも語る。しかし、バーチャルとリアリティの区別がつかなくなった現代人には深い憂慮を感じている。

教えてくれない。だから若い人は、メディアから流される世界を信じてしまっんでしょ。

私が1960年代に米国にいたとき、テレビで「スタートレック」をやっていた。今も時々見えますけどね。そこで出てくる話で、銀河系の中でも1カ所だけは行ってはいけない星がある。そこでは死んだ人は生き返る。そういうことを映画やドラマでやっている。われわれはこういう話が受け入れられているという現状を、ある程度、理解をしておいたほうがいい。

最近、村上春樹の『ノルウェーの森』を読んでいるけど、面白いね。ありえないようなことを空想しながら書いている。こうした作品を読まないで、今の人が何を考えているかわかりません。インターネットでも、また漫画でもありえないようなことが載っている。空想でつくられたものが、実際の世界であるかのようになり、映画館とかテレビでわれわれの前に出てきている。若い人はこうしたものしか見ないから、そこに興味を持っている。

このように混乱した状態にある世界が将来どうなるか、気掛かりです。そこで私は最後に残るのは人間の価値と道徳だと思っています。その道徳を支えるのは宗教です。政治家であった私が信仰の重要性を説くのは、こうした理由からです。

## 技

術の進歩が速くなり、おカネとメディアが全世界を駆け巡っています。こうしたグローバルライゼーション時代ではメディアの役割が重要です。メディア自体が世界で強い影響を与えており、メディアがどういう方向にいくかで世界も変わってしまいます。

リティの問題です。今、映画を見ていると新しいシナリオを作れているのでは、と思います。というのは現実と仮想が混乱しているからです。かつては過去・現在・将来と三つの空間がありました。これにバーチャルリアリティが加わります。そして、いわゆる死んだ人の世界がもう一つ入ってきます。となると、五つの空間です。

映画、特に米国映画などをご覧下さい。映画の中では、幽霊やいろいろな訳のわからないものが出てきて、人間は死んでもすぐ生き返るし、理解できません。でも、そういう話だと売れるんです。

今の人は現実に生きていながら、将来のことはわからない。死んだ後の地獄、天国、将来はどうなるかといったことも、宗教ではつきりとは